

教育研修センター通信

Vol. 6

平成26年8月29日
発行：教育研修センター

研修医からひとこと

研修医一年次 林 和沙

研修生活が始まって早くも5ヶ月が過ぎようとしています。24ヶ月のうち5ヶ月と考えると5分の1が過ぎてしまい、改めて時の流れの早さを実感します。



私は救急科、呼吸器内科と回らせていただいておりますが、救急の場と病棟の違いに戸惑い、奔走する日々が続いております。この5ヶ月で、これは成長したと堂々とと言えるものはまだないように感じます。ただ、周りの先生方は優しく指導してくださり、学ぶことが非常に多いです。また、勉強熱心な姿を目の当たりにして、医師は一生勉強して成長を図っていくものだということも改めて感じております。同期にも恵まれて、研修病院に藤枝を選んで良かったなと思っております。先生方のようになれるのか不安もありますが、同時に、先生方や看護師さんとい人前の医師として接したいという強い気持ちもあります。早く成長した姿を見せられるように、これからもっと勉強して、日々精進していきたいと思っております。

研修医一年次 丹羽 琢哉

こんにちは。研修医1年目の丹羽琢哉です。

研修医としての生活が始まりすでに5か月が経過しようとしています。これまで呼吸器内科、呼吸器外科・心臓外科で研修させていただき、現在は救急科での研修に励んでおります。医師として右も左もわからないひよっこの私に、各科の先生方はご自分の業務があるにも関わらず、時に優しく、時に厳しく指導して下さいます。その熱い指導に応えられているのはいないのか、不安になることもあります。ありますが、これからの精一杯勉強していこうと改めて今この文章を書きながら実感する次第です。この藤枝市立総合病院は同期の研修医や2年目の先生方が同じ部屋にまとめてデスクをいただいていることもあり、気軽に医学知識を共有したり、日々の悩みを相談したりしやすい環境となっており、2年目の先生方の仕事を毎日見て圧倒されたりと毎日が大変ですが、それらすべて糧として精進していきたいと考えております。これから宜しくお願い致します。



超音波勉強会

診療技術部
専門監 秋山 敏一



超音波勉強会の実技風景

今年も5・6月の毎週水・木曜日朝7時30分から研修医対象の超音波勉強会を開催しました。内容は、基礎、FAST、尿路系、胆道系、心臓Bモード法、心臓ドプラ法、頸動脈について、ワンポイントレクチャーと基本走査の実技を行いました。研修医一年次の皆さん勉強会お疲れさまでした。確認テストも皆さん合格、後日受講証明書が発行されます。

研修医二年次の放射線科ローテーションには、毎週火曜日の午前中は超音波検査を実践しています。音を利用した超音波検査は第二の聴診器とも言われ、現にポケットに入る携帯用超音波診断装置も市販されています。また、救急ではFASTに加えRUSH Examinationが話題となつております。超音波勉強会は終わりましたが、毎週火曜日8時から超音波症例検討会、救急ローテーションのハンズオンエコーにも積極的に参加して下さい。そして超音波検査を習得しましょう。可能な限りサポート致します。

地元高校三年生が病院体験・受験対策

8月19日(火)に「医学・看護系大学をめざす高校生のための課外授業」を開催しました。地元高校三年生19名が参加し、現役大学生による受験対策、研修医との懇談、医療現場体験、受験時の模擬面接などを行いました。

医療現場体験では、手術室で電気メス等を使い、鶏肉の切開を体験。また、シミュレーションルームでは人形を使い気管挿管や心肺蘇生を体験。地元藤枝市出身の岡本和哉医師から指導を受けました。日程の最後には元浜医大入試面接官の白石副院長による本番さながらの受験模擬面接。「すごく緊張したけれど、アドバイスをもらえ、受験の参考になった。」との声も寄せられました。



この課外授業をきっかけにより一層医師、看護師になりたいという強い志を持ち、本日から医師や看護師の卵が多く生まれることを期待します。ご協力いただいた皆さん、お忙しい中ありがとうございました。

